

上川支部 活動報告

1 活動方針

第五期研究主題

『できるを実感し、やりたいと思う体育学習』

～具体的な目標をもち、仲間と共に学び合い課題を解決する～

視点1 できたが実感できる **教材の工夫**

→ 児童や生徒の実態にあった適切な工夫を行う

視点2 もっとやりたいと思う **学習過程**

→ つまずきの予想や必要感をもたせながら設定

視点3 できたを実感し、もっとやりたいと思える **評価の工夫**

→ 見える残る評価と共に子どもたちの止まっている時間の短縮

2 活動報告

(1) 「第32回 上川管内学校体育研究大会 東神楽大会」9月27日

●公開授業

東神楽小学校 十河 俊輔 教諭 「マット運動」

東神楽中学校 田中 貴博 教諭 「創作ダンス」

●研究発表

東神楽中学校 速水 徹也 教諭

「保健分野における知的構成型ジグソー法の実践」

●助言者

三浦 裕 (北海道教育大学旭川校教授)

小出 高義 (北海道教育大学旭川校准教授)

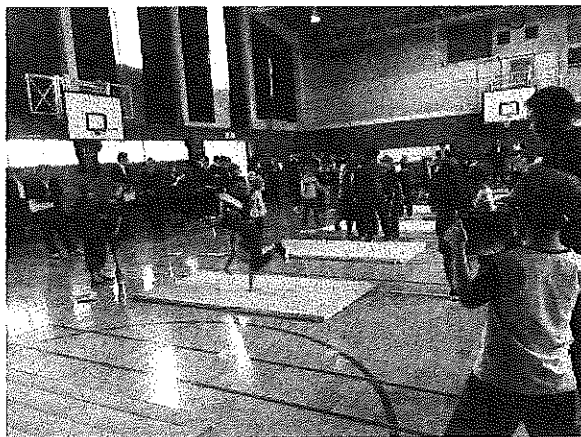
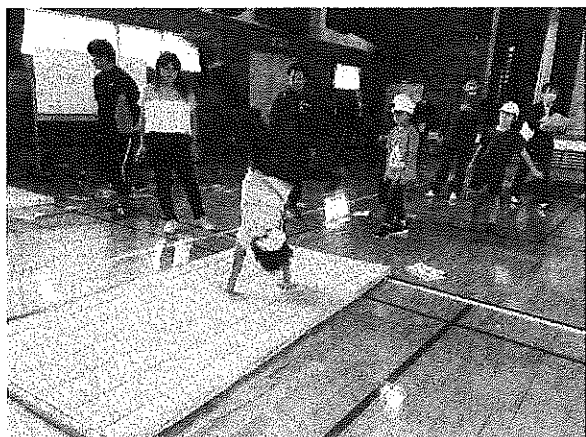
北河 剛治 (北海道教育庁上川教育局指導主事)



●公開授業1 「小学校3年 マット運動 ～ 十河 俊輔 教諭」

それぞれが課題をもち、仲間とともに解決する中で **もっとやりたい** と思う **学習過程**

～ 同じ地域の中学生の映像から 自分の未来の姿を想像する ～



○振り返りの後に、もう一度動いて自分の動きを確認して終わることで、知識技能の高まりが見られた。

○新学習指導要領で基本の技として示された側転を軸に単元構成。体が軽い打ちに取り組む利点を再認識するものに。

○中学校との連携で、ゴールの様子をイメージし取り組むことで、意欲が高まった。

●ICTの活用の仕方に課題。撮る支点、見る視点と具体的に。運動量の確保も課題となる。

●それぞれの課題を解決するための場の設定が不十分であった。

